



Ⅵ—Ⅲ 実証講座（水族館 ユニット）

1 開発する教育プログラム

～飼育、テーマパークの運営～

上越市立水族博物館（榑横浜八景島（八景島シーパラダイス））との連携学習プログラム

2 コマ数および受講者数

（1）企業実習（インターンシップ）の開発と実践

①コマ数：49 コマ（7日＊7コマ） 受講者数：1名（うち女性0名）

②コマ数：28 コマ（4日＊7コマ） 受講者数：1名（うち女性1名）

（2）海洋高校飼育魚類の展示・高校生水族館ガイドツアー・道の駅 出前水族館（蘇れマリンミュージアム能生）・さばけ アンコウ・ガール（どずこい アンコウ・力士）

・コマ数：1 コマ 受講者数：35名（うち女性17名）

（3）ジオパーク弁天岩ダイビングツアー・弁天浜磯遊び

・コマ数：2 コマ 受講者数：38名（うち女性4名）

3 実証講座の受講者数およびのべコマ数


（1）受講者数計：93名（うち女性30名）

（2）のべコマ数：188 コマ

4 実証講座

(1) 企業実習（インターンシップ）の開発と実践

1	実証講座名	飼育研修、展示方法に関する学習
2	連 携 先	㈱横浜八景島 上越市立水族博物館
3	実 施 日 時	①平成28年8月22日（月）～28日（日）7日間（7日＊7コマ相当） ②平成28年9月3日（土）～4日（日）および 17日（土）～18日（日）の4日間（4日＊7コマ相当）
4	実 施 場 所	上越市立水族博物館
5	受 講 者	資源育成コース2年
6	受 講 人 数	①1名 ②1名 計2名
7	授業科目名	課外活動
8	実施の概要	水族館での就業体験 ＊キャリア教育ユニットにて企画・運営
9	効果および ね ら い	企業（事業所）における就業体験をとおして、働くことの喜びと厳しさ、さらに職業人としての心構えを学習させる。
10	実 施 内 容	水族館における日常業務の体験をした。受講者の希望と担当者の面接により、「魚類」、「ペンギン・哺乳類」の2グループに分かれ、それぞれの飼育担当者からマンツーマンで指導を受けた。
11	講座の内容	<p>【魚類】水槽の掃除、水温測定等の水槽管理、給餌、飼育担当者の補助</p> <p>【ペンギン・哺乳類】飼育舎の掃除、飼育動物の観察、給餌、飼育担当者の補助</p> <p>指導担当の職員の方からアドバイスいただきながら、熱帯魚への給餌を行った。魚類の観察をしっかりと行い、残餌の無いように気をつけて少量ずつ与えるように指導されていた。</p>

	<p>写真1 熱帯魚への給餌の様子</p>	
12	<p>効果の検証 および課題</p>	<p>生徒はインターンシップ期間中、担当職員からほぼマンツーマンで指導を受けることができた。自分の持っていた水族館の仕事のイメージとは違う現実直面しながらも、職員の方々からさまざまなアドバイスをいただいて大変充実した実習となった。</p> <p>参加生徒への事後アンケートの結果、短い実習期間の中でも、お客様と接する機会があり、高い専門性、コミュニケーション能力が必要だと感じたと回答していた。また学校ではどのような力を身につけなければならないかを理解し、今後の学校生活に影響を与えると回答していた。</p> <p>受入先からは、実習生の目的意識の高さを求められており、今後も参加生徒の事前指導の徹底が必要である。</p> <p>また、水族館での飼育業務のすべてを体験するためには、2週間程度の期間が必要であることが分かった。</p>